

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター心愛つう					公表日	令和7年 1月 10日
		チェック項目	(はい)	(いいえ)	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	・グループごとで集中しやすい部屋の大きさにしている。 ・学習内容を考慮して部屋をうまく使っている。	限られた空間なので、上手に活用して、それぞれのグループの活動に支障がないようにしていく。それぞれのグループが、時間厳守で取り組むよう配慮する		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	1	・日、曜日によって違うが、十分いるし、むしろ多い時もある。 ・グループの人数や子供たちの様子によって、職員の数を変動させている。 ・利用する人数が少なく、職員が多い時は、事前に支援する人数を減らすようにしたいと思う。 ・少ない時があるが、日々職員はいる。グループに必ず2名いるのでとても良い。	職員の配置数については、基準通りの配置であるが、それ以上にパートさん、訪問支援の先生方の加配があるため、職員が多くなる時がある。仕事の効率化のために事務的な仕事へ向けられる様配慮していく		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	・外遊びの時、アスファルトの上で転倒すると大げがつながるため、何らかの対策が必要だと感じている。 ・情報がたまに伝わっていない時がある(欠席連絡等)	外遊び等、アスファルト上での指導時は、怪我等に配慮しての職員の配置を考える		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	2	・話し合う時間を設けるようにして、やることができていると思う。	常勤は話し合う機会が設けられているが、パートの方については参画できるよう改善をしていく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・評価表は書いてもらって見ることはあるが、その事について話し合う機会はない。	評価表について内容について、職員全体で対応について確認をしていきたい		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・週2回ミーティングがあり、子供たちの様子を共有している。	ミーティングが、有効に活用できるよう、司会、記録をしっかりと、指導に生かしたい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	2	・法人内ではないが、外部の研修に参加させていただけ。 ・今年度はいろんな研修にそれぞれの職員が参加したり、提案されている。	年度初めの研修や、年間に研修について計画されていることを周知してほしい。年度初めだけでなく、年度の途中で研修への働きかけをし、研修に取り組みたい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1		職員間で、支援プログラムを計画だけとどまらず、定期的な話し合いを実施、見直しをしていく		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	・支援計画は職員がいつでも見ることができるようになっている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	・支援計画を立てて、サインをもらったら、ファイルにはさむため、全員に共有できているか分からない。	支援計画について、担当、クラスに限らず、いつでも見られる様になっているので、個々のファイルについては目を通して、共有をしていきたい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1		定期的なアセスメントの見直しだけでなく、日々の記録なども把握しながら、アセスメントの確認、記録の段階表などを見直しをしていきたい		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		今年度、個別支援計画の様式が変わったが、子どもの支援については、これまで通りなので、紙面だけでなく、日々のあらわれも含めて、職員で情報共有をし、こどもにとって、よりよい支援になるよう取り組みたい。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・立案されたものを職員全体で見て、考えていくことができている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	・週1でミーティングしてなるべく活動がかわらないようにしている。 ・こどもの様子を見て変化させていくように心がけている。	活動プログラムについては、様々な要素から考え、子供たちの実態に合わせて工夫をしていきたい		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0		朝の短いミーティングでも、支援内容の確認をし、連携して取り組めるようにしたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	1	・固定のミーティングは、週2日だが、職員間の会話の中で日々話題になっている。・打ち合わせの時間が設けられているわけではないが、終了後、気付いたことを話し、共有できる雰囲気がある。・グループ内ではしているが、全員に共有できていない。・その日にはじまる前に職員間で確認とグループの方はそれぞれに2人いるので、場に応じて相談するようにしている。	グループでは、支援後に気づいたことなどの共有はそれぞれのグループで確認できている。全体で支援の振り返りが、職員全員で行われているわけではない。週2回のミーティングや何らかの方法で振り返りを行い、記録などで共有できるようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	・毎日個人記録を残している。・その日に難しい時もあるが、記録を書くことで誰でも見られるようになっており、週1話し合っている。	毎日の記録を毎日把握することは難しい、週2回のミーティングを活動して、情報の共有をしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	・必要に応じて行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・療育の様子を受診時に手紙で渡している子もいる。	関係機関との連携は、個に応じるので、必要な子については、今までと同じように連携して支援をしていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		移行支援会議では、支援内容等の情報共有と相互理解に努めている。今後もその様に取り組みたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	・小学校に行った子は、小学校に行っからの情報共有になる。・相互理解に努め、情報の交換は取るようにしている。	就学時に移行支援は、自立支援協議会でも計画的に取り入れられている。また、小学校への移行についての連携は必要に応じて取り組んでいく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	1	・お互いの事業所を見ていき、質の向上ができるように計画している。	自立支援協議会などを通して地域の事業所との連携を図り、地域の質の向上に努めていきたい
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	0	・職員のが人数が整ってきたことで、外部研修に適切に参加させている。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	5	・コロナ流行移行、あまりできていないので、今後おこなってほしいとよい。・並行通園の子が多いため日頃から交流している？。	計画的な実施ができていない。地域での活動を行事などとして取り組めるように働きかけていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	・手紙や自宅送迎してきたときなど、利用して子供のことの共通理解をするように努力している。	・毎日、保護者と直接会える利用者さんばかりでないので、おたより、LINEや手紙、電話などで日頃の様子を伝えていきたい
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0	・日程を決めて行っている。まだ不足部分もあるため、今後も継続して行って行きたいと考える。	ペアプロの研修は、5回の参加になっている。継続して参加できない保護者に対して、面談等で家族支援の仕方などの情報を伝えながら、家で取り組めることを進めたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		全体でのミーティングの中で、それぞれの子供についての支援内容の確認、家族の意向をもっと取り入れ、確認作業をしていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・相談された事により、手紙やLINEなどを活用して答えるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	・親子イベントで兄弟も来る時があり、交流している様子が見られる。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	・その日に、職員に相談し、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・LINEの活用で、日々の様子を写真付きで伝えられるようになった。・子供たちが楽しく過ごしている様子や今後行う行事を発信している。	・個人情報についての意向でホームページ上での写真館の扱いで写真を載せることを拒む保護者が増えてきている。写真館のあり方を考え直したい。個人の写真については、基本的には記録用と考えていきたい。保護者に理解を求めたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	・何かあったら、手紙や電話などで行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	1	・ハロウィン	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	・保護者と連絡訓練をしていない。	防災訓練の取り組み方を施設内だけでの実施から、もっと地域や保護者を含めた取り組みのことも多く取り入れて実施をしていくようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	・災害の時、自分は何をするのかを決めておいた方がいいと思った。・定期的に訓練を行うように計画をしていき、職員間でどう動くか共通理解している。	防災訓練で、突発的（想定外）な災害の取り組みについて、BCPの研修会等で取り込んでいく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	1	・予防接種の確認はできていません。・朝、その日の体調をきいている。	予防接種の確認は必要か検討
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	・今年度は食物アレルギーの子供がいないため、対応は無し。	アレルギーのある子に対して対応については、基本的なマニュアルを作り直してもよいと思われる
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		安全管理のガイドラインが6月に出た、職員で読み合わせて、安全管理に努めていきたい
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		安全管理のガイドラインが6月に出た、職員で読み合わせて、安全管理に努めていきたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	・ヒヤリハットの報告書を作成して職員全員に回覧して再発防止に努めている。	ヒヤリハットについては、できるだけ細かな点でも取り上げていきたい。ミーティング等で定期的な情報共有を図りたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1	・どこまで踏み込んでいいのかわからない、難しさを感じる。・虐待を疑われる場合には、職員間で様子を見たり、他機関と連携を取ったりしている。	職員間で、何でも言い合える関係性を築きたい。行き過ぎない指導に確認ができるよう、ミーティング等で、言いやすい場を設けたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1		身体拘束はないと思っているが、虐待同様、行き過ぎない指導が確認できるよう、ミーティング等で、言いやすい場を設けたい。	